

【令和5年度 学校法人興國学園 学校評価の実施について】

当学園におきましては、学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を実施いたしました。なお、評価の実施に関しましては、「学校評価ガイドライン」に従い適正に実施いたしました。

学校評価の内容完成

1. めざす学校像
2. 中期的目標
3. 自己評価（教職員へのアンケート形式で実施）
4. 本年度の取組内容及び自己評価（実施時期 令和5年9月）
5. 学校関係者評価（実施時期 令和5年10月）

上記の学校はすべて興國高等学校です。以上の結果をそのままホームページに公開いたします。

令和5年10月24日

学校法人 興國学園

理事長 草島葉子

尚、学校関係者評価については、「学校評価」評価委員会が、実施いたしました。

令和5年度 興國高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神

オンリーワン教育を実践し、人間力豊かな人材を育成することを目的とする。
「オンリーワン教育とは、学力という物指は人としての一点を捉えたにすぎず、自分の長所・得意なところで夢や目標を見つけさせ、そこで人間としての力を伸ばしていく教育」

教育目標

- ・社会に役立つ力強い男子を育成する
- ・自分と関わり合う人との縁を大切にし、常に感謝の気持ちを忘れない人を育成する
- ・自分で志を立て、それに向けて地道に努力する人を育成する

2. 中期的目標

①社会のニーズに即したコース・カリキュラム運営

“オンリーワン教育”の展開の概要

偏差値教育だけでは引き出せない生徒一人ひとりの、学習へのモチベーションの向上を、既存の学校教育の枠にとらわれず、あらゆる角度から点検し、大学や専門学校との連携によって、より緻密に個々の目標達成を目指します。特に私学であることの独自性とフレキシブルなカリキュラムの実践と、教材開発や講師採用についても柔軟性を持って対応する。

②授業改革の推進

- (イ)「学校は学びの場である」という原点への回帰
- (ロ)生徒が「学びたい」と思える教育
- (ハ)生徒に「学ばなければ」と思わせる教育

③生徒指導の取組強化

- (イ) 基本的な生活習慣や公共マナーの確立と指導、また授業内容の充実と発展、並びに環境の整備といった項目を重点目標として取り組む。
- (ロ) 公開授業の実施など、授業の充実と生徒の進路目標の確立に向けて、学年団と校務分掌（教育研究部を中心に）が連携して取り組む。
- (ハ) 進路指導の側面から、進学面では指定校のさらなる拡大と内容の充実を図り、就職面では、求人の新規企業開拓に向けて就職指導と第2学年の早期から企画し、より活性化した新たな就職指導の形態を目指す。

④国際教育の推進

国際的な視野を広げ、グローバルな感覚を持った人間を育てるため、出来るだけ多くの機会を提供出来るようなカリキュラム・行事を実施する。
特に海外短期語学研修や海外研修旅行を充実させる。

3. 自己評価アンケートの結果と分析

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整理・集約したものです。

<令和4年度 資質向上自己申告票のまとめ>

[単位:人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	2	14	43	24	8	1	92
②	担任業務	3	14	34	13	5	0	92
	副担任業務	0	3	7	5	1	7	
③	教科指導	1	25	42	16	3	4	92
④	クラブ活動	6	20	33	23	5	5	92
小計		12	76	160	81	22	17	368
評価分布状況	令和4年度	3.3%	20.7%	43.5%	22.0%	6.0%	4.6%	
	令和3年度	2.8%	19.9%	40.6%	25.0%	5.1%	6.5%	
	令和2年度	3.6%	18.6%	41%	27%	5.6%	4.2%	
	令和元年度	3.8%	16.6%	40.8%	29.6%	5.4%	3.8%	

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・**評価S**：大幅に目標を上回っている。
- ・**評価A**：少し目標を上回っている。
- ・**評価B**：目標通り。
- ・**評価C**：少し目標を下回っている。
- ・**評価D**：大幅に目標を下回っている。
- ・**その他**：該当の業務分担がない教員の人数。

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 61 名、常勤講師 31 名 の計 92 名です。

(ニ) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質の向上に役立てています。
- ・新しい取組みのための研鑽や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かすために専門分野の方の講演会を定期的を実施しています。
- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底します。
- ・クラブ活動や興國寺子屋など課外活動への参加率向上を目指します。
- ・高大連携では、相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めます。

- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コースで学力向上を目指し、強合宿実施を進めていきます。

(ホ) 創立100周年に向けた新たな取り組み

学園改革以降、生徒指導と並行して特に注力してきたのが進路指導です。生徒一人ひとりの学力向上を目指すのは言うまでもありませんが、クラス担任が生徒個々の将来に寄り添い懇切丁寧な進路指導ができる力を養うため、教員研修などを積み重ねることで情報の収集と共有に努めてまいりました。その成果として進路保障100%を達成し、京都大学6年連続現役合格をはじめとした国公立大学124名合格はもとより、私立大学の推薦入試制度を効果的に活用して、大学進学率70%超という進学実績を挙げることができております。さらには、宮内庁、内閣府、東京消防庁、警視庁、海上保安庁、自衛隊などの公務員や大手企業から毎年安定的に採用をいただいております。

近年は新型コロナのまん延により、人との関わり方や学び方・働き方が大きく様変わりし、併せて多様性を重んじる時代にあって、創立100周年というメモリアルイヤーを間近に控えた本学園に与えられた使命は何であるのかを見極めていく必要があると考えております。総じていえば、ONLYONE 教育に象徴される「人間力」をニューノーマルに適応させていくことであろうと捉えています。そのため、以下に挙げた8点に関する取り組みを推し進めてまいります。

- ① 生徒や保護者のニーズを先取りしたカリキュラムの編成
- ② 思考力・判断力・表現力を育む探究型の授業を展開
- ③ 主体性・多様性・協働性に重点を置いた実践プログラムの企画・運営
- ④ 学習成果やクラブ戦績などを発信するために SNS を有効利用
- ⑤ リアルタイムで保護者と情報を共有するために連絡用アプリを有効利用
- ⑥ 教職員の資質向上を目指した研修会・勉強会の実施
- ⑦ 耐震対応のためのオンリーワンキャンパスの改築
- ⑧ 最先端の施設・設備を備えた南館校舎の新築

上記の取り組みを推し進めた結果として、大阪随一の男子校としての魅力を永続させ、興國学園で学びたいと考える生徒の獲得に繋がると確信いたしております。

以 上

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
○	コース・カリキュラムの改革	<ul style="list-style-type: none"> 学則定員の変更 プレミアムアドバンスⅠ・Ⅱ類新設 ～SADと同様に8時間授業と豊富な補習等を展開し難関大を目指すPADⅠとSADの授業を6時間に短縮しクラブ活動に参加出来るPADⅡを新設 	学則定員2,280名→2,400名 R4年度新設 生徒募集状況	◎：学則定員 2,400名 ◎：R4年度4月より新設 ◎：R4：募集定員80名に対し129名入学 (R5：募集定員80名に対し112名入学)
		<ul style="list-style-type: none"> 全生徒へのタブレット導入後の運用保守改善 専用ソフトを活用し業務効率化・コスト削減を実現 	生徒用端末の修理対応 ITツールの活用 (Microsoft Teams等)	◎：IT必修課の生徒用端末の調達先を変更し修理70%改善。故障品修理のリートタイム削減・修理費用低減に成功 ○：専用ソフトの業務活用推進 (出欠管理・アンケート・課題提出等)
○	教育内容充実	<ul style="list-style-type: none"> SAD・ADコース：国公立合格100人計画4年目 難関大学対応したプログラムの提供 モチベーションの向上(各種大学・弁護士事務所・病院等の見学、高大連携による大学授業の受講) 外部模試受験必須化・クラスの拡大 	共通テスト受験者数 国公立合格者100人 必須化クラス数	◎：共通テスト受験者389名 昨年度比+22名で高水準を維持 ◎：国公立合格124名 昨年度と同数を確保(1昨年度比は+42名の高水準) ○：進研模試+2クラス
		<ul style="list-style-type: none"> CTコース(公)：公務員受験者に対する補習の増強+専門学校でのセミナー受講 CTコース(幼)：提携保育園との連携強化、各種検定の取得強化 	公務員試験合格者数 検定取得数	◎：公務員試験1次合格者 R4:155名～R2比1.5倍の大幅増継続・消防職過去最高6名 ◎：保育検定合格者 1級合格2名・2級合格3名
		ITB科 <ul style="list-style-type: none"> I C T教育の充実 高大連携授業の拡充 興國商人プロジェクト 	タブレット活用授業の充実 連携授業講座数 ITBストアの常設化	◎：リモート授業(欠席生徒も自宅にて授業参加)。グループワーク授業(情報収集能力向上・プレゼン力の育成) 各種アンケートをチームスにて実施 ITB科目では31/41コマ迄増(76%) ○：学年主体で新たに3校との特別講習会を実施 ○：学校説明会でのITBカフェ実施 ○：2年ITG主体の「フレンドパーク」実施
○	授業改善への取組	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちの通信簿(生徒からの授業評価) 研究授業/公開授業→教科指導研修会 コース編成見直し 	教科ごとのポイント数 研究授業開催数 見直し実施したか	○：本年度は全教科平均83.1ポイント 全教員が授業改革ノート提出 ○：研究授業は全教科で実施 ○：スーパーアドバンスクラスを改編 改編実施で更なる授業力向上へ
○	国際教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ポートランド州立大学への留学 Weblioオンライン英検対策 交換留学生受入ホームステイプログラム 	参加人数 新教材の提供 留学生受入とアンケート	◎：本校生の為の学習進捗度に合致したオリジナルプログラムを展開 参加者41名が現地大学寮に滞在 ○：1対1のオンライン会話のみならず、英検等に活用出来る新教材を提供 ○：ドイツとスウェーデンから計2名留学生受入 本校生徒の家庭に滞在し、言語学習だけでなく、文化交流も実施。留学生には日本語授業も提供(アンケートも○)
	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動の継続 We love you キャンペーン継続～学級委員長&アクティブリーダー中心に生徒の自主的なクラス運営を目指す カウンセリングの機能強化 スクールコンシェルジュの活用 交通マナーを徹底し通学中の安全を確保する コロナ感染症予防対策の強化・黙食徹底 ICT機器の取り扱いルールの改定 	挨拶運動の実施状況 アクティブリーダーのミーティング回数 カウンセリング生徒推移 講習会開催 パトロール時のマナー指導 感染者数減少に向けた 各施策の徹底 ルール改定とICTリテラシーの学習	○：挨拶運動継続中 ○：各組アクティブリーダー任命 イベント毎にミーティングを実施 ◎：カウンセリングの生徒数の増加 R3年度29名→R4年度38名 ○：年初に対象者を集め講習会開催 パトロール時の交通マナー指導を徹底 ○：放送での注意喚起・イベント開催時のコロナ対策徹底・寮での罹患時の早期隔離 ○：違反状況に応じての指導徹底

5. 学校関係者評価

- ① 学校評価全体としては、全職員の自己申告評価は、目標以上となる評価 S・A・B の割合が 67.5% と過半数を大きく上回りました(昨年：63.3%・一昨年：63.2%)。昨年、一昨年と比べ更に高い水準を確保していることは喜ばしいことでもあります。教職員の皆様の努力には日頃から感謝しておりますが、100 周年にむけて更なる高見を目指して行く過程であり、管理職の先生方とのコミュニケーションを密にし、各自の目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。
- ② オンリーワン教育の実践を図るべく、時代のニーズ、生徒一人ひとりのニーズに沿った独自性有るフレキシブルなコース設定は素晴らしいと思います。特に、令和 4 年度入試で、新興國型 5 教科入試(より強みを生かせる上位 3 科目傾斜配分方式)を新たに導入され、これ迄のアドバンスコースをバージョンアップしてプレミアムアドバンス I・II 類を新設及びアカデミアコースに新コンセプトを導入、入学希望者大幅増加の実績は現代の多様性にマッチしている結果と言えます。又、令和 6 年度入試では更なる進化を目指すべくスーパーアドバンスクラスの改編に着手されたとお聞きしております。私学としての独自性を発揮された巧みなコース運営は素晴らしく、今後の教育内容の更なる充実が大いに期待できることは、大変喜ばしいことだと思えます。
- ③ 各コース・カリキュラムの改革に於いては、大学進学に重きを置き、早くから生徒の目を大学に向けるべく、高大連携を強化し続けておられる点は、大学進学実績含め大いに評価出来ると思います。これ迄の弛まぬ改革の結果が、国公立大学や医学部、難関私大への合格者数大幅増加に顕著に表れていると理解しております。又、キャリアトライコースでの公務員受験者に対する補習の増強や専門学校との連携強化も奏功しており、今年度も公務員試験一次合格者が昨年度と同様一昨年比 1.5 倍となる水準を確保されており、素晴らしい結果を出されております。今後も大学入試改革等々に沿った巧みな進路指導に大いに期待するところがあります。
- ④ 国際教育の推進面においては、本校生の為の学習進捗度に合致したオリジナルプログラムでのポータランド州立大学へ 41 名も参加と他校水準を大きく上回る夏季短期留学を実現されました。ドイツとスウェーデンから計 2 名の換留学生の受入、ウクライナ情勢から発生した避難民の 2 名受入、ケニア、トンガ、ニュージーランド、台湾等からの長期留學生の受入も着実に実施されており、本校の国際化は大きく進展していると感じております。多方面から本校の国際教育への期待は非常に大きいものが有るとお聞きしております。次の更なる大きなステージに向けたステップアップを期待しております。
- ⑤ 生徒指導面では、「We love you キャンペーン」を継続され、学級委員長とアクティブラーダーを中心に生徒の自主的なクラス運営を図られている点は素晴らしく、引き続き実践して頂きたいと考えております。又、スクールコンシェルジュの活用による更なるカウンセリング機能強化については着実に実績があがってきているとお聞きしており、引き続き更なる取組強化を期待しております。

- ⑥ 今年度も昨年度に続き、コロナ禍の中での非常に厳しい学校運営で有ったかと思いますが、マスク・消毒液の配備、全館消毒、オンライン朝終礼、オンライン授業、ハイブリッド授業導入等々、考えられる感染防止対策の徹底に尽力され、生徒・保護者の不安感を払拭して頂いたことを、高く評価致します。
- ⑦ 今後は、100周年を目指して、更に高い目標にチャレンジして頂きたいと思います。教職員組織も大きくなり、決して1人や2人の努力では、成果が出難くなっております。どうか全員の英知を結集し、チームワークの力で達成して頂きたいと願っております。

以 上

令和5年10月24日 「学校評価」評価委員会

興國高等学校PTA 会長 豊川 成和
副会長 富永 光成
平松 さとみ